

正念場の
12月

10%超の実現を目指す



次期診療報酬改定の大幅引き上げ、改定前の財政措置の確実な確保を求める声が全国各地から高まり、病院・診療所のプラス改定に向かっている。しかし一方で新政権はOTC類似薬に絡めた新たな患者負担創設や電子カルテの全医療機関への義務化法案を今国会に提出した。

保険証は十二月に廃止されたが厚労省

が三月まで継続して使用を認めた。協会

は保険証復活を求める声明を出した。(関連六面、七面)

次期診療報酬改定での^{10%超の引き上げ、改定前に相当の規模での緊急財政措置の実現を求める運動は大詰めを迎えて}

保団連が主催する「診療報酬の大幅引き上げしかない!国会前集会」に参加した。渡部理事長は「必要なのは質水のプラス改定と患者負担を軽減させる政策の転換」「診療所と病院が日本中の住民の健康を守り、安心を支えている。この体制を守ることを訴えたい」と発言している。この体制を守ることを訴えた。協会は県内から選出されている国会議員に会員の声を届けるとともに、尽力する議員を激励した。

先立つ十月三十日は、保団連や複数団体による「地元の医療を守ろう!」診療報酬の大幅引き上げを求める大集会にも参

加した。集会には与党自民党他、野党各党の国会議員が駆けつけた。埼玉県選出の九人の議員も賛同・応援メッセージを寄せた。

協会は会員等による要請署名と署名に寄せられた意見集を県内選出の全ての国会議員に届けた。要請署名を受けた翌週の十一月二十日、協会は

玉県医師会に届けた。

十一月二〇日は、医師会からも

10%の引き上げ

総理

十一月二〇日は、医師会、歯科医師会等で構成する国民医療推進協議会が「国民医療を守るために総決起大会」を開催し、その様子は全国各地のサテライト会場にも配信された。多数の来賓国會議員らが駆けつけ、各

会員からの要請署名と医療界の要請行動は、しっかりと国会審議にも反映されている。

十一月十三日の参院予算委員会で、総理は「病院と診療所を分けるといふ話ではない」「それ

は「OTC類似薬って…?」

これがほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)

受診できても薬は自費に?

一部の薬(OTC類似薬)が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

これなどは胃薬や温湿布薬、花粉症の薬などなど、あなたが必要な薬となるかもしれません…

◆解熱鎮痛薬(1kg)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約2円 約45倍

◆内服の塗薬(5g)の場合 保険適用(3割負担)の場合 約95円 約11倍

市販薬の場合 約1,000円

(オーティーサイ-リ-いじやく)
OTC類似薬って…?

これらほんの一部で、OTC類似薬が保険から外されるかも…これまでの10~50倍の費用になることが予想されます

この一部を2026年に公的医療保険から外すこと

政府によって検討されています。

本邦、必要な医薬品は全て公的医療保険で販売されるべきです。

小児等の医療助成制度を利用されている方でもお薬が全額自己負担となる可能性があります。

この一部はOTC類似薬の問題点をまとめた患

者配布用チラシ(本紙付録)